



事業所自己評価・保護者評価をうけて事業所内の分析2023年

2024.4.18(木)

分析担当者：代表理事 都

事業所の特徴

- スペースが広く、遊具が多い。
- 長期休みの外出などが充実している。
- 集団・個別・グループ活動のバランスがとれている。
- 地域に開かれている。
- 多様なルーツの子どもがいる。
- 比較的スタッフが若い。
- カフェスペースがある。
- 就労に向けた活動をしている。
- 入浴サービスがある。
- 夕食会などのサービスがある。
- 地域の学校との連携をもっている。
- 部屋わり、予定表等で見通しを持てるように構造化をしている。
- 就労中の親の都合を優先できる。

保護者のニーズ

- 発達や就労の問題を解決してほしい。
- 支援時間をもっと融通してほしい。
- 長時間利用したい。
- 安心して過ごせる居場所を引き続きつくってほしい。
- 学校以外での友だち関係を構築したい。
- 自立支援をお願いしたい。
- 学校からデイサービスまでの流れを大事にして、リラックスして過ごしてほしい。
- よりきめ細やかな支援をお願いしたい。
- 子どもの家庭での困りごとを解決してほしい。
- SSTの実践
- 保護者会や保護者同士の交流があってもいい。
- スタッフの専門性が可視化してほしい。

分析をうけて改善の方向

◎課題1◎ 利用者保護者のニーズを叶えていく必要がある。子どもたちの成長や特性に合わせたレクリエーションや活動をブラッシュアップしていく必要がある。

→各スタッフの技術向上と、そのための研修、資格取得をより一層進めていき、質の高い支援を提供する。そこから得られた経験や実践をもとにPDCAサイクルでより良い支援計画を立てて実施していく。国家資格取得に向けた勉強や研修などで、引き続き専門性を高めていく。

◎課題2◎ 保護者のニーズに対する改善方針

→日々の困りごとを受け取り、個別に事業所としてできる範囲で保護者のニーズに対応していく。

実施例)

支援時間の延長、急遽利用の対応、学校や家庭で困りごと相談、進路相談、性教育、SST
子どもの成長に合わせた課題設定、グループワーク。